

第685回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1 中部縦貫自動車道 大野東IC付近建設工事〔近畿地整〕

…………… 大野市蕨生他

- ・中部縦貫道の大野油坂道路は、福井県内で整備されている中部縦貫道の延長約35kmにわたる区間で、途中に大野東IC（仮称）、勝原IC（仮称）下山IC（仮称）を設置する。大野IC～大野東IC間は2019年度に着工。
- ・北陸自動車道福井北JCT～東海北陸自動車道白鳥JCTを結ぶ約72.8km区間のうち、永平寺大野道路（約26.4km）、油坂峠道路（約11.4km）は全線が開通しており、大野油坂道路が開通すればミッシングリンクを解消し、福井県と岐阜県の県境を越えて北陸道～東海北陸道を結ぶ高速道路が全線開通する。
- ・工事実施に当たり、盛土施工においてICT施工を実施しており、大野ICにあるラウンドアバウト構造を取り入れ、2022年度中に供用開始の予定。



2 一級河川大蓮寺川放水路整備事業〔福井県〕

…………… 勝山市本町他

- ・勝山中心市街地を縫うように流れる大蓮寺川は、川の断面が小さく、過去に幾度となく浸水被害が発生。
- ・現況1/2の治水安全度を1/50に高めるため、現川改修と市道元禄線および市道立石線に放水路の整備を実施。
- ・放水路は、埋設深の大小により、土留開削工と推進工に分けて施工。
- ・土留開削工では、矢板打設に硬質地盤クリア工法を採用し、ボックスカルバートは狭隘な場所での設置を可能とするエアーキャスター工法を採用。
- ・現在は、限られた幅員の中で、車道と歩道の上下線を分離するセパレート方式により、市道の交通を確保しながら、放水路工事を推進しており、2024年度完成予定。



3 福井市観光交流センター（北陸新幹線福井駅拡張施設）建設工事〔福井市〕

…… 福井市手寄

- ・2024年春の北陸新幹線開業を見据えて、駅周辺では、複数の市街地再開発事業が進められている。
- ・福井市では、都市再生整備計画を策定し高次都市施設として、並行在来線、新幹線の駅舎と合築する観光交流センターを整備。
- ・施設の権原者がJR西日本、鉄道・運輸機構、福井市の三者と複数にまたがるが、建築基準法上は1棟として取り扱われ、消防設備等を共有している。
- ・2階建ての屋上広場は、北陸新幹線の車両が発着するホームと同じ高さに作られており、ガラス越しに新幹線車両を見ることができる。

